

## 第 98 回「言葉の院外処方箋」

「クラーク精神と新渡戸稲造イズム」 ～ 「懸け橋」 ～

2022年2月24日「突然のお願いですが、どうか先生のお力でNHKに新渡戸稲造を主人公とした大河ドラマを造らせてください。——日本の生きる道は、第二、第三の新渡戸稲造(1862-1933)を輩出するしか無いのではないのでしょうか。それに役立つと思います。勇気を与えてくれるだけではなくて。お忙しいとは思いますが、是非にもお願いいたします。先生しかいません。」とのびっぴり仰天のメールを頂いた。早速、「流石ですね！素晴らしいオファーと言うだけでなく、先生のこれまでの人生観を重ね合わせた新渡戸稲造作品にしてください。楽しみです。」、「クラーク(1826-1886)精神と新渡戸稲造イズム、是非実現させたいですね。」、「大河ドラマが無理でも、単発のスペシャルドラマでもいいかもしれません。確かにいまの世の中、新渡戸稲造の生き様をドラマ化して多くの方々に見てもらうのは、意義があることかもしれません。」などなど心温まるメッセージを頂いた。

今度、スペシャルドラマ「津田梅子 ～ お札になった留学生 ～」のテレビ放映とのことである！「聖徳太子(574-622)ー新渡戸稲造ー樋口一葉(1872-1896)ー津田梅子(1864-1929) 5000円札の顔」である。女子教育に大いなる理解を示した新渡戸稲造(東京女子大学 初代学長)が、河井道(1877-1953; 恵泉女学園 創立者)、津田梅子(女子英學塾 創立者)、安井てつ(1870-1945; 東京女子大学 第2代学長)を援護した三人に共通するのは、『種を蒔く人になりなさい』である。「新渡戸稲造のNHK大河ドラマ」の製作は歴史的要請であろう！まさに、「冗談を本気で実現する胆力」の試金石である。

今年(2022年)は、新渡戸稲造の原点である札幌農学校(現在の北海道大学)の札幌で「新渡戸稲造生誕160周年記念」シンポジウムの企画される予感がする。「今、再びクラーク精神」&「今、再び新渡戸稲造イズム」の時代的到来である。2022年2月25日、筆者は、広報委員を務める日中医学協会(The Japan China Medical Association)の委員会WEB会議(Zoom)に出席した。大変勉強になった。「医学の懸け橋」の実践であろう。